

特定非営利活動法人木曽情報技術支援センター  
(KISO - Information Technology Support Center)

## 設 立 趣 旨 書

### 1. 趣 旨

木曽には限りない魅力があります。しかしながら個々の力だけでは、その魅力を発掘し広めていくことは難しいことです。木曽を訪れる人々は、最北の楢川村から最南の山口村にいたる 11 町村を、すべて「木曽」と認識します。文字通り「木曽はひとつ」なのだと考え、まとまっていくことで、木曽地域全体および個々の町村の活性化が図れるのではないかと考えます。

行政レベルでも、木曽広域行政に代表される同様な思想や施策がありますが、協調および公平性を求められる立場から、やむをえないことではありますが、どうしても対応が遅れがちになります。

そこで、木曽情報技術支援センター (KISO-ITSC) を設立し、民間の立場でその一役を担いたいと思います。木曽地域に住みこの地を愛する人々の力を、発掘し、育て、結集し、内需の有効活用ならびに地域へのフィードバックをめざす、地域内循環型成長システムを支援していきたいと考えます。

木曽の玄関窓口として、木曽地域の不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とすることから、特定非営利活動法人(NPO)として設立します。

この活動により、木曽地域の情報技術 (Information Technology) が向上し、その個々の力を結集することで、全体のレベルアップが図れればと、考えます。同時に、個人または団体を支援することで、木曽地域全体の活性化と利益につながればと考えます。

### 2. 申請に至るまでの経過

平成 12 年 4 月より、数名の有志により設立準備会を結成し、発案・検討・準備を行ってまいりました。また、10 月 1 日からはそのうち一名が、従前の職を辞し、設立準備に専従する形をとりました。その間、さまざまな立場の方々から趣旨を説明し、たくさんの方々から賛同を得ることができました。今後はさらに広範囲にわたった呼びかけを行い、入会を勧めてまいりたいと思っています。

当法人の目的や事業は、一民間事業者として実施していくことも可能ではありまじょうが、木曽地域の不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与するという観点から、特定非営利活動法人(NPO)として活動することが、その目的を達するに最適であると考え、申請するに至った次第です。

平成 12 年 12 月 20 日

特定非営利活動法人木曽情報技術支援センター  
設立代表者 住所 長野県木曽郡木祖村大字小木曽 1593 番地 6  
氏名 永 島 芳 晃 印